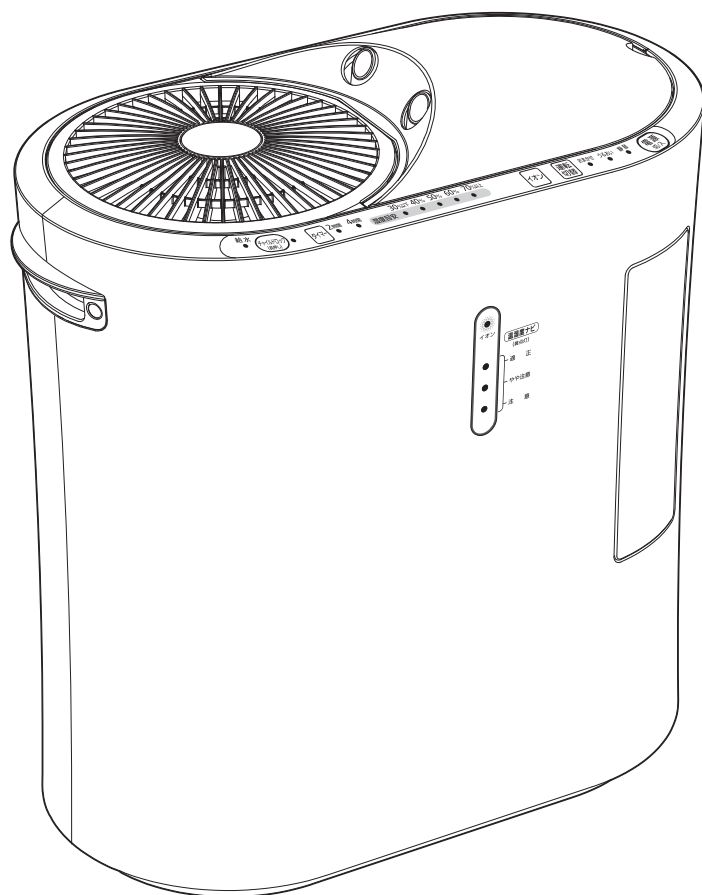


強力ハイブリッド加湿器

SPK-1500Z / SPK-1500

取扱説明書



※ イラストはSPK-1500Zです。

保証書付 (裏表紙)

「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

特長

ご使用の前に

特長.....	2
安全上のご注意.....	4
使用上のお願い.....	6
各部の名称.....	7

取り扱いかた

お使いになる前に.....	11
使いかた.....	12
ナビ表示.....	15
お手入れ.....	16
イオン交換樹脂カートリッジについて.....	18
収納について.....	19

こんなときには

故障かな？と思ったら.....	20
仕様.....	22
保証とアフターサービス.....	23
別売品.....	23
保証書.....	裏表紙

「加熱式」+「超音波式」のハイブリッド加湿器

- ・ ヒーターで温められた水が、超音波振動によって霧状になり、室内を加湿します。気化式や加熱・超音波単独の方式に比べて、強力な加湿が可能です。

お部屋のすみずみまで強力加湿

- ・ 吹出し口に設けたサーキュレーターによって、部屋のすみずみまで霧化された水分を拡散します。
- ・ デュアルポートの吹き出し口により、加湿量が約50%向上しました。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

清潔で安心

- ・ 超音波振動子の近くに抗菌銀カートリッジを配置しました。抗菌銀カートリッジには、銀を含むガラスブロックを内蔵しています。このガラスブロックが徐々に水に溶け出し、抗菌成分である銀イオンを水に放出します。約70℃の加熱と銀イオンの効果で加湿する水を清潔に保ちます。

※ イラストはSPK-1500Zです。

白化防止のためのイオン交換樹脂搭載

- ・ 加湿された水分が蒸発すると、水道水に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル成分が析出して白い粉が出る場合があります。人体には無害ですが、家電製品や精密機器の内部に入ると動作不良の原因になることがあります。
- 本製品には、白い粉の発生を防ぐためのイオン交換樹脂を搭載しています。

温湿度ナビ装備

- ・ 温度と湿度（相対湿度）を測定して、空気中の水分量（絶対湿度）が適正かどうかを表示する「温湿度ナビ」を装備。加湿だけでは水分量が不足するときにお知らせします。

マイナスイオン発生器 (SPK-1500Zのみ)

- ・ イオンボタンを押すと、マイナスイオンが放出されます。
- ※ マイナスイオンは浮遊ウィルスやかびの抑制、花粉・ダニなどのアレル物質の低減、お肌の水分量を整え美肌を助けるなどの効果があるとされています。
- ※ 本製品は医療機器ではありません。イオンを発生しますが、上記の効果を目的としたものではありません。



イオン発生装置は、株式会社村田製作所のイオニシモ®を採用しています。

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

図記号の意味



注意を促す記号です。



してはいけない「禁止」
内容です。



しなければならない「指示」
内容です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



必ず実施

- 電源プラグのほこりは定期的にとる
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良
になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確
実に差し込む
ショートによる発火・感電の原因にな
ります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず
電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しを
しない
感電・やけど・けがの原因になります。



禁止

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、
コンセントの差し込みがゆるいとき
は使わない
ショートによる発火・感電の原因にな
ります。
- 電源コードをたばねて通電しない
火災の原因になります。
- 持ち運び時や収納時に電源コードを
引っ張らない
火災・感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引
張る、ねじる、重いものを載せる、挟
み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原
因になります。
- 交流 100V 以外では使わない
火災・感電の原因になります。



水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気のある場
所では絶対に使用しない
- 本体を水につけたり、本体に水をか
けない
発火・感電の原因になります。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修
理技術者以外の方が修理を行うことは危
険です。
修理については、お買い上げの販売店ま
たはアイリスコールにご相談ください。



禁止

- スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、
潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シ
ンナーなど）、可燃性のもののそばで
使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない
発火・火災の原因になります。





必ず実施

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・発火・感電のおそれがあります。

〔異常の例〕

- ・ 異常な音やにおいがする
- ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- ・ 運転中時々電源が切れる
- ・ 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



禁止

- すき間からものや手を入れない
感電やけがの原因になります。



禁止

- 子供など取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
けがや感電のおそれがあります。
- 屋外では使用しない
故障してショートや発火の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

水タンクの水について



必ず実施

- 毎日新しいものに取り替える
水タンクは毎日振り洗いし、常に清潔にしてください。古い水を使用すると、異臭を発したり健康を害する原因になります。
- 1週間以上使用しない場合は、必ず水タンク及び本体内の水を捨てる
水が入ったまま放置すると、異臭や周囲の空気の汚れの原因になります。
- 残った水を料理や飲み水に使用しない
健康を害する原因になります。
- 凍結しそうなときは、水タンク及び本体内の水を捨てる
凍結すると、故障・水漏れにより周囲の汚損の原因になります。



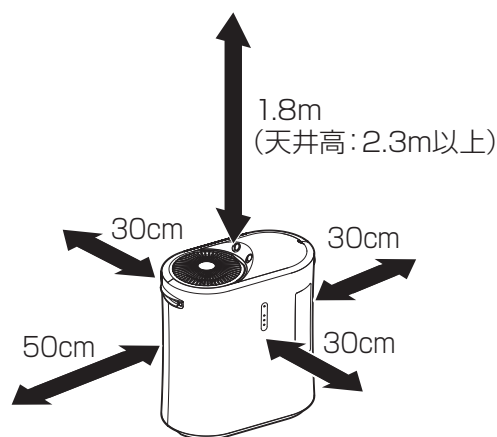
禁止

- 水道水以外は使用しない
40℃以上の水・化学薬品・芳香剤（アロマオイルなど）・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などを使用しないでください。
かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水漏れや周囲の汚損の原因になります。



禁止

- 加湿された風が、家具や壁、カーテン、電気製品などに直接当たるところに設置しない
- 設置の際は、カーテン・壁・家具などから、図に示す距離を離す
家具や壁、カーテンなどの汚損の原因になります。また、電気製品に結露したり水のミネラル分が付着したりすると、電気製品の故障の原因になります。



必ず実施

- 暖房機・テレビ・ホットカーペットなど電気製品の上で使用しない
転倒すると水がこぼれ、火災や電気製品の故障の原因になります。



必ず実施

- 水平で安定した床の上に設置する
毛足の長いカーペットやふとんなどの上に設置すると、転倒してけがをしたり水漏れしたりするおそれがあります。また、台や机の上に設置すると、天井に結露し汚損する原因になります。



禁止

- 製品の上に乗ったり、寄りかかったり、ものを置いたりしない
転倒によるけがや火災の原因になります。

安全上のご注意 つづき



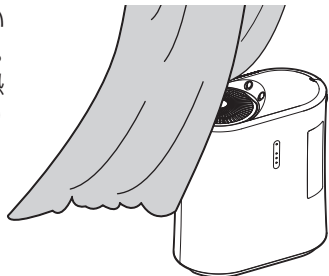
必ず実施

- 水タンクや加湿筒、吹き出しノズルを正しく取り付ける
正しく取り付けないと、水漏れや周囲の汚損の原因になります。



禁止

- 吸気口や吹き出し口をふさがない
吸気口や吹き出し口をタオルやカーテンでふさがないでください。水漏れや過熱の原因になります。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、発火・感電の原因になります。

- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。

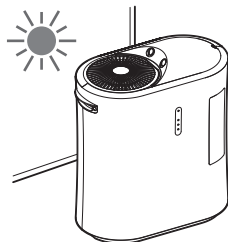


火気禁止

- 火気・暖房器具などに近づけない
- 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない
発火・火災の原因になります。

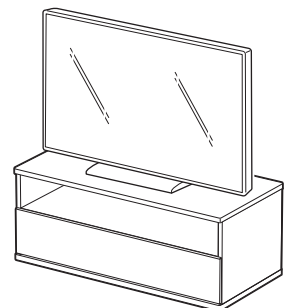
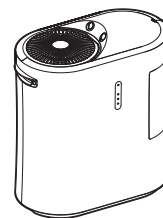
使用上のお願い

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで使用しない
変形・変色したり、センサーが温度・湿度を感知できず誤動作することがあります。



- スピーカーやIH調理器（電磁調理器）など磁気の出る機器の近くに置かない
正常に動作しないことがあります。

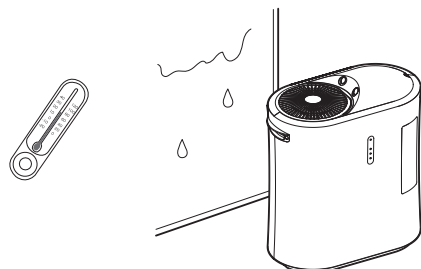
- ラジオやテレビに近づけない
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



- ベンジンやシンナーで拭いたりしない
破損・故障の原因になります。

使用環境について

- 室温は 5 ～ 35℃ で使用してください。
室温が低いと床濡れや結露がおこりやすくなります。運転モードを静音にしたり、室温を上げたり、加湿量の調整を行うなどして使用してください。
また、窓際や冷気の影響を受けやすい壁などは、定期的に結露を拭き取るなどして使用してください。



- 水平で安定した床の上で使用してください。
本製品に内蔵された転倒時安全スイッチが働くと、電源が切れることがあります。

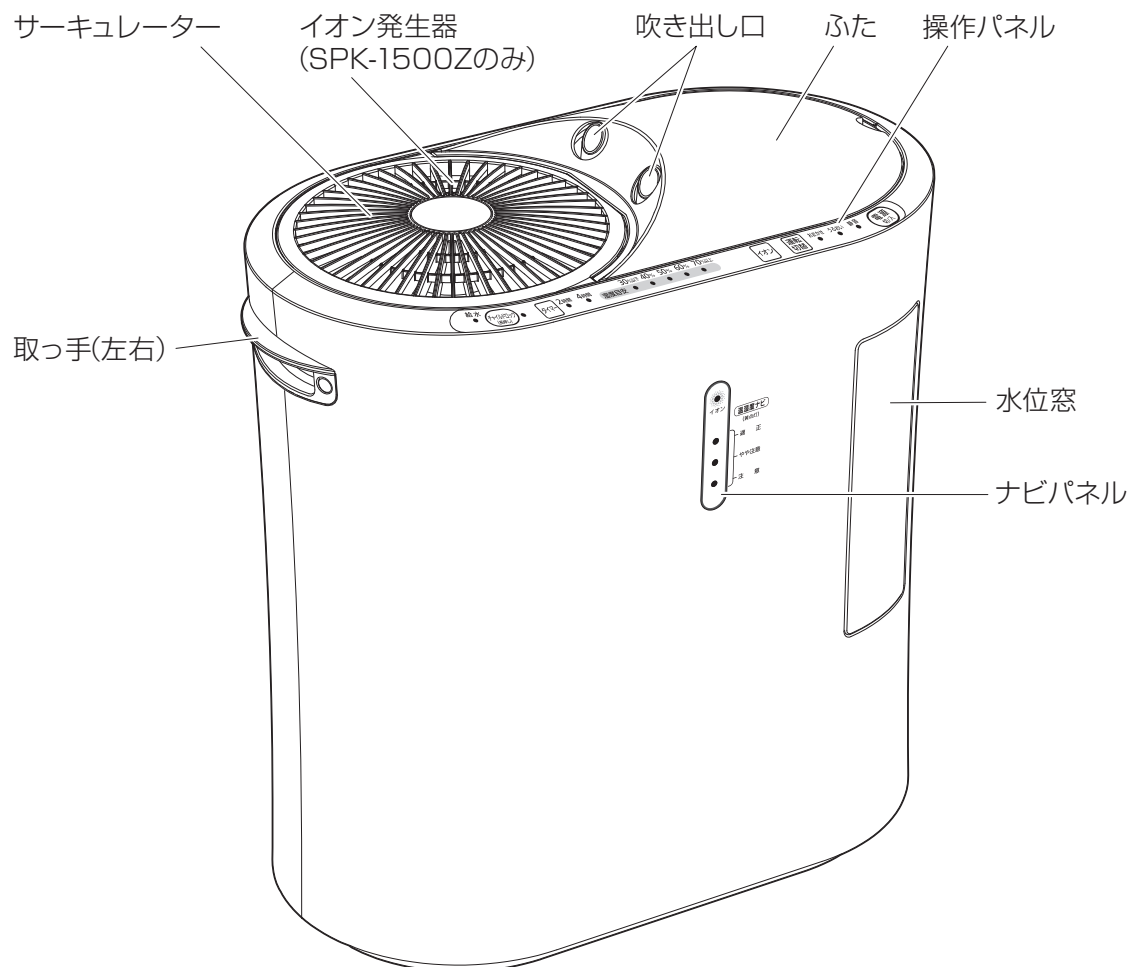
廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

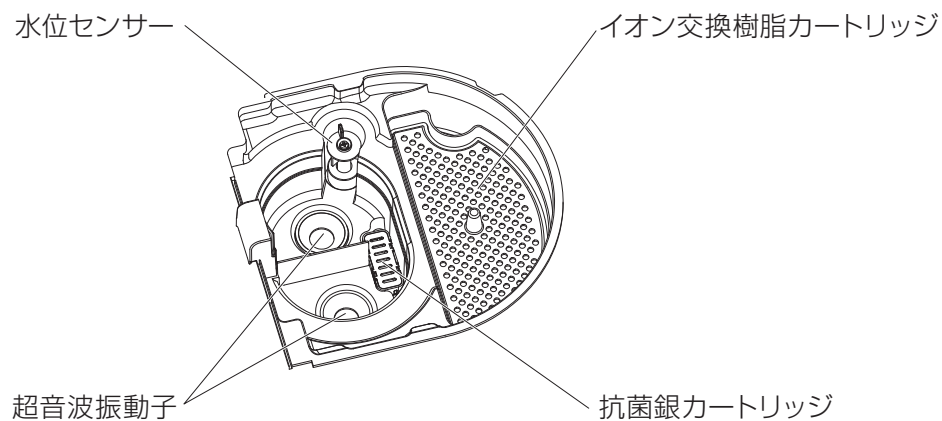
各部の名称

■ 本体

※ イラストはSPK-1500Zです。

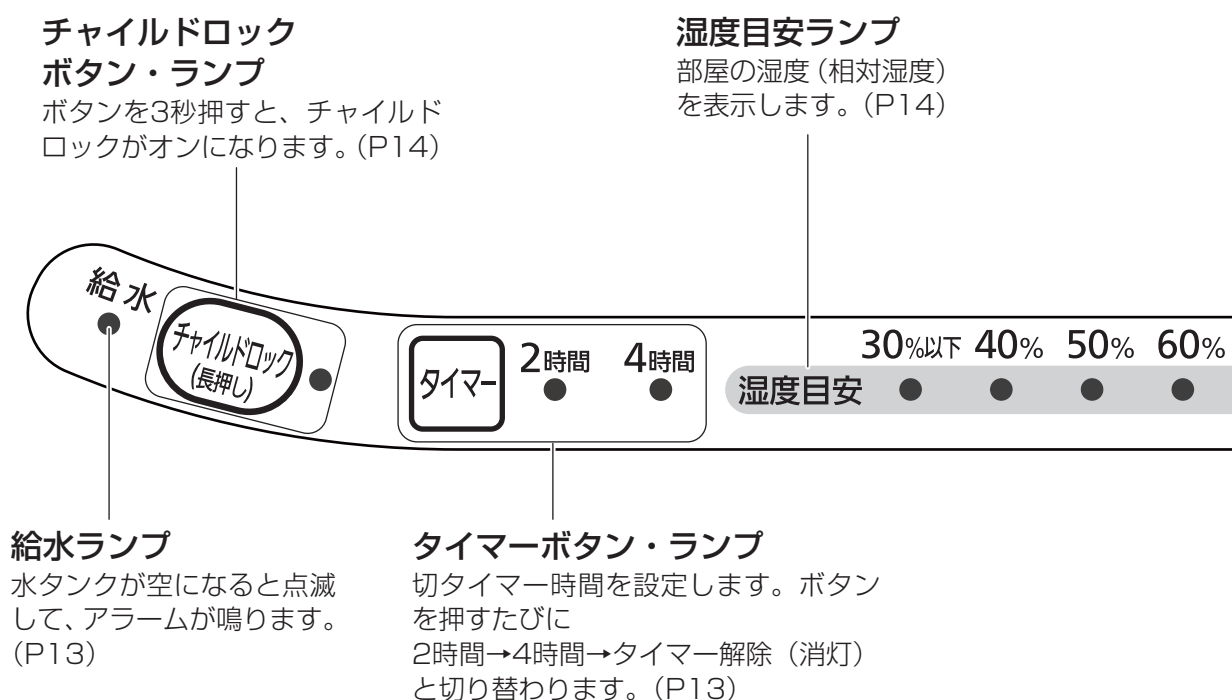


■ 内部

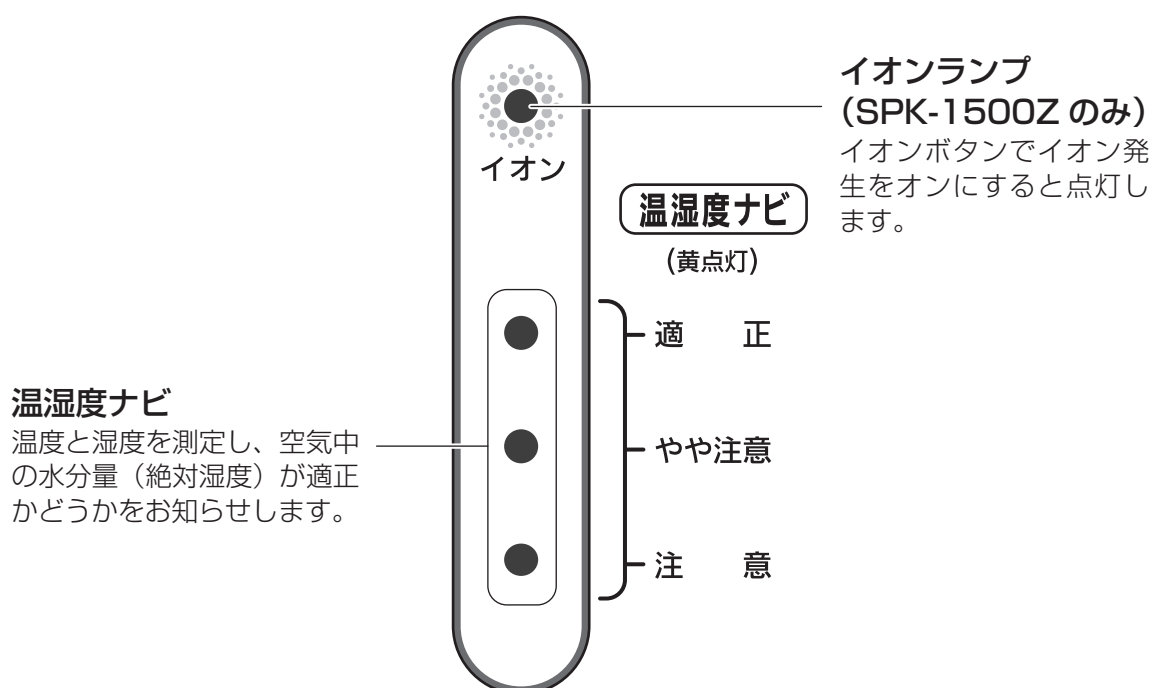


各部の名称 つづき

■操作パネル



■ナビパネル



※ イラストはSPK-1500Zです。

イオンボタン (SPK-1500Z のみ)

ボタンを押すと、ナビパネルのイオンランプが点灯し、イオン発生器がオンになります。(P13)

電源ボタン

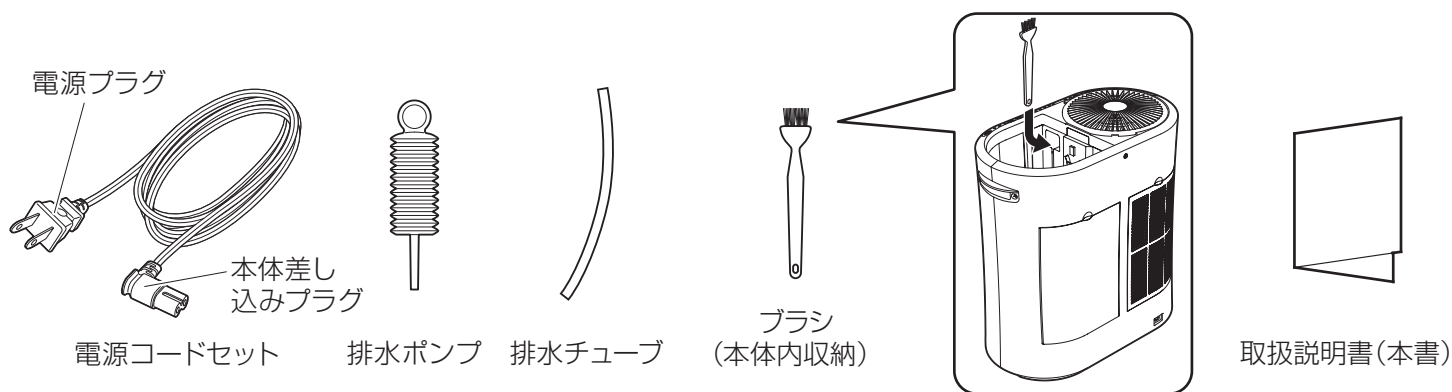
電源を入・切します。(P12)



運転切替ボタン・運転モードランプ

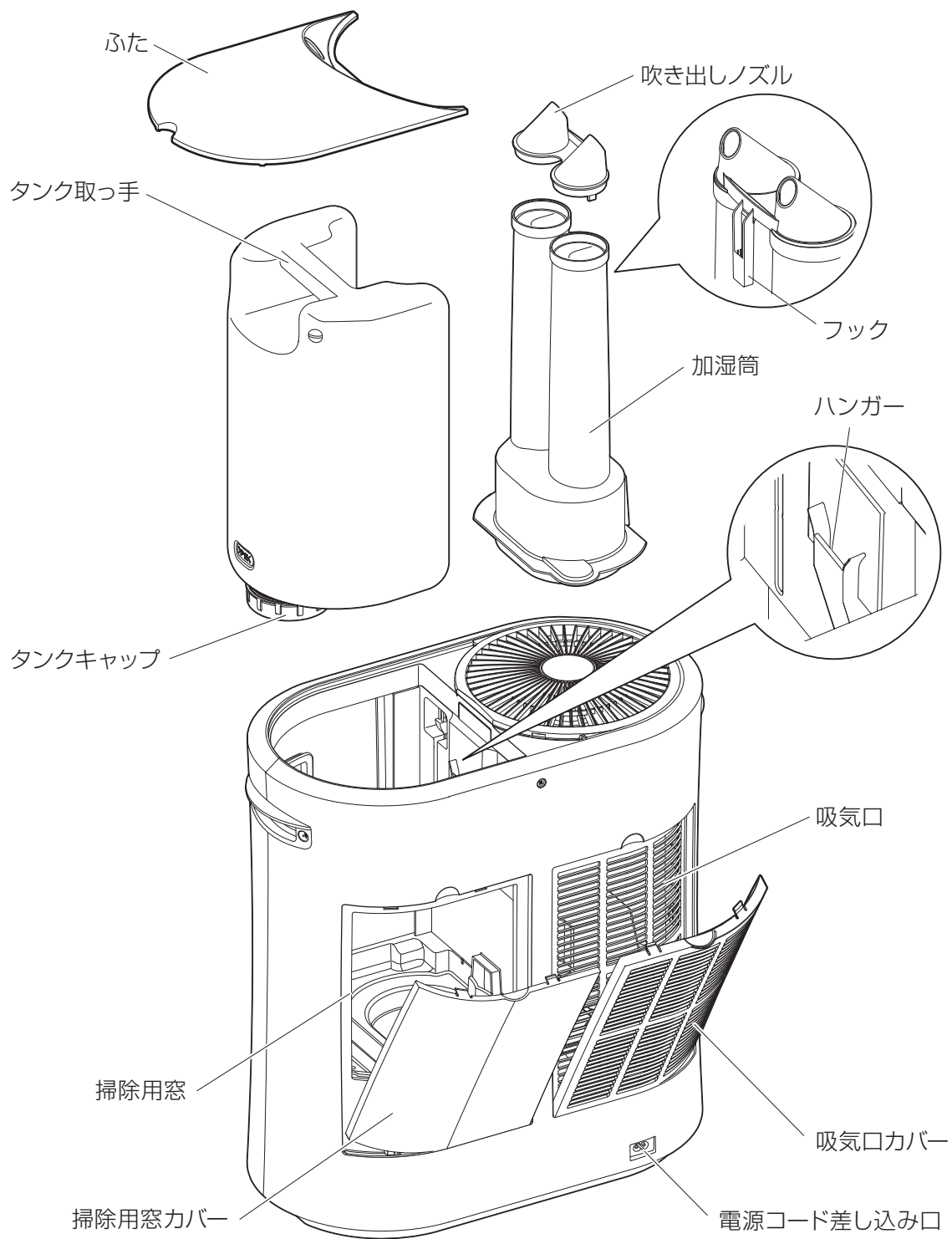
電源を入れると前回と同じモードで運転を開始します。ボタンを押すたびに おまかせ→うるおい→静音 と切り替わります。(P12)

■付属品



各部の名称 つづき

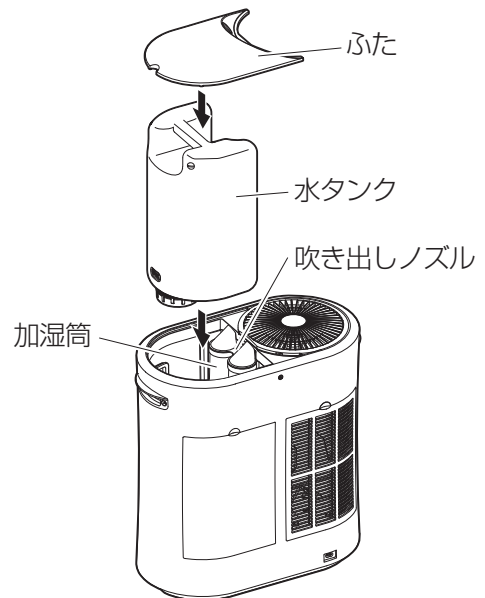
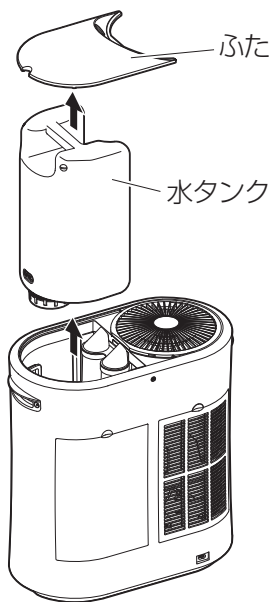
■本体（部品）



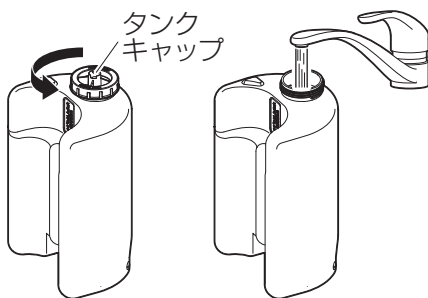
お使いになる前に

■水タンクに水を入れる

1 ふたを外して水タンクを取り出す



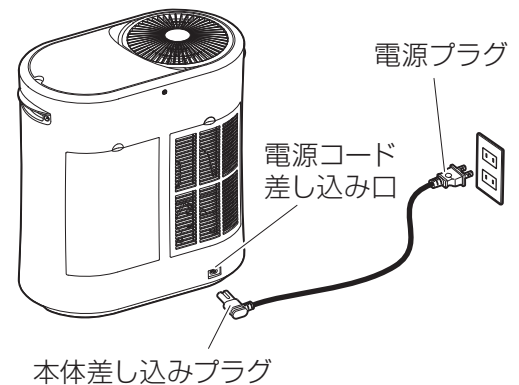
2 タンクキャップを外し、水道水をタンクに入れる



- タンクキャップは確実に閉めてください。タンクキャップがななめになっていたりゆるんでいたりすると、水がこぼれて本体が故障したり周囲を汚損する原因になります。

■電源コードをつなぐ

- 電源コードの本体差し込みプラグを差し込んでから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



- 必ず水道水を使用してください。40℃以上の水・汚れた水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。
- 水に薬品・香料・精油などを入れないでください。かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水漏れや周囲の汚損の原因になります。

3 タンクキャップをしっかりと閉め、タンクとふたを本体にセットする

- ※水タンクをセットするときは上から落とさないで、ゆっくりセットしてください。破損の原因になります。
- ※タンクをセットするときに、吹き出しノズル・加湿筒が外れないように注意してください。外れると、水タンクが空でなくても給水ランプが点滅し運転できないことがあります。

注意

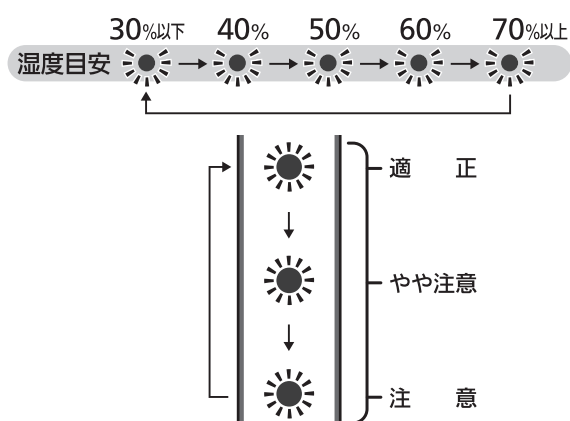
- 初めて使用するとき、超音波振動子付近に白い粉が出ることがあります。これは、抗菌銀カートリッジの銀化合物が輸送などでけずれたものです。超音波振動子に白い粉が出たときは、P17を参照して超音波振動子を掃除してください。

使いかた

1 電源ボタンを押す



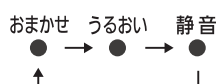
- 電源が入ると、部屋の湿度を測定します。湿度の測定中は、湿度目安ランプとナビランプが順番に点灯します。



- 湿度測定が終了すると、湿度目安ランプとナビランプが測定結果を表示し、運転を開始します。
- ※ 次に電源を入れたときは、前回と同じモードで運転を開始します。イオン発生（SPK-1500Zのみ）も同じ状態で運転します。ただし、電源コードを抜いたり停電したりすると、リセットされて「おまかせ」モードで運転します。

2 運転モードを選ぶ

- お好みに応じて運転切替ボタンを押してモードを切り替えてください。



<おまかせ>

目標湿度を約50%に設定して、加湿量を自動で調整します。

<うるおい>

目標湿度を約60%に設定して、よりパワフルに加湿します。

広い部屋で使用するときや、急速に部屋の湿度を上げたいときに使用します。

<静音>

目標湿度を約50%に設定し、ファンの運転音をおさえて、静かに長時間加湿を行います。

おやすみのときなど、より静かに使用できます。

※ 静音モードのときは、給水ランプが点滅してもアラームは鳴りません。

温度・湿度に合わせて、連続加湿↔間欠加湿を自動で切り替えて加湿量を調整します。

● 目標湿度に達したり、室温が低く床濡れのおそれがあるときなどは、間欠加湿になります。

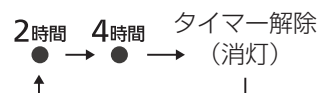
■ 停止するには



- ・ 運転中に電源ボタンを押すと、運転を停止して電源が切れます。

■ 切タイマー

- ・ タイマーボタンを押すたびに、次のように表示ランプが切り替わり、タイマーがスタートします。



- ・ 設定した時間がすぎると、運転を停止して電源が切れます。

■ 給水ランプが点滅したら

- ・ 使用中に水タンクの水がなくなると、アラーム（ピーッ）が5回鳴り、給水ランプが点滅して運転を停止します。



- ・ 水タンクに給水し（P11）本体にセットすると、再び部屋の湿度を測定して、運転を再開します。



※ タンクをセットするときに、吹き出しノズル・加湿筒が外れないように注意してください。外れていると、水タンクが空でなくても給水ランプが点滅し運転できないことがあります。

■ イオン（SPK-1500Z のみ）

- ・ イオンボタンを押してイオンランプを点灯すると、加湿器内部のイオン発生器からマイナスイオンが発生します。



- ・ 再度イオンボタンを押してランプを消灯すると、イオン発生は停止します。

※ オンのときは、効率よくイオンを発生させるため、加湿とイオン発生 of 交互運転を行います。

イオン発生（加湿停止） ↔ 加湿（イオン停止）

- 静音モードで運転しているときは、給水ランプが点滅してもアラームが鳴りません。ランプの点滅を確認したら給水してください。

■チャイルドロック

お子様などにいたずらされないように、本製品から離れるときはチャイルドロックをかけることができます。

ロックをかけるには

- ・運転中にチャイルドロックボタンを3秒以上押してください。



- ・チャイルドロックランプが点灯して、すべての操作ができなくなります。

ロックを解除するには

- ・チャイルドロックボタンを3秒以上押してください。



- ・チャイルドロックランプが消灯し、ロックが解除されます。

※電源コードを抜いたり、停電したり、切タイマーで電源が切れたりすると、チャイルドロックは解除されます。

■加湿量の調整

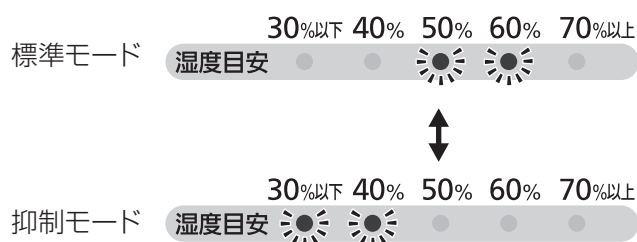
本機は、温度や湿度に応じて最適な加湿をするように設定されていますが、使用環境によっては床が濡れてしまうことがあります。そのようなときは、加湿量の設定を調整することができます。

1 電源が入っていない状態で運転切替ボタンを3秒以上押す



- ・アラーム「ピッ♪」が鳴ります。

2 運転切替ボタンを押して設定を切り替える



3 選択したら電源ボタンを押す

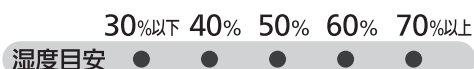


- ・アラーム「ピー♪」が鳴ります。
- ・再度電源ボタンを押すと運転を開始します。

ナビ表示

■湿度目安ランプ

操作パネルの湿度目安ランプは相対湿度の目安を表示します。



※湿度は、測定する場所や風向きによって変わります。
表示は目安としてお使いください。

■相対湿度と絶対湿度について

湿度には、相対湿度と絶対湿度があります。

相対湿度：空気中に含むことができる水分量（飽和水蒸気量）に対して、実際に含まれている水分量を表します。

湿度目安ランプは相対湿度の目安を表示します。

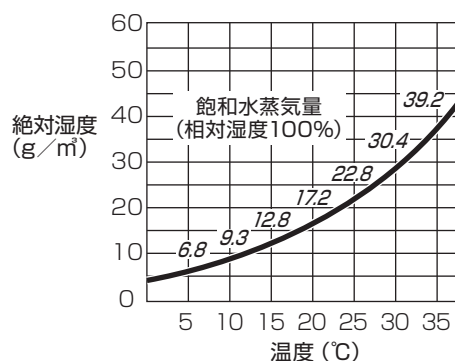
絶対湿度：単位容積に含まれる水分の量を表します。

温湿度ナビは絶対湿度の目安を表示します。

相対湿度は気温によって大きく変わります。

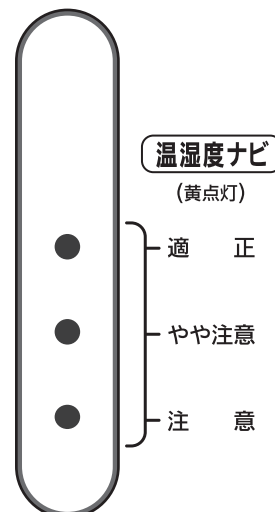
気温が下がると飽和水蒸気量が下がるので、それまで含まれていた余分な水蒸気は結露したり霧になったりして液体の水になります。

氷を入れたコップや冬期の窓に結露するのは、空気が冷やされて飽和水蒸気量が変わるためです。



■温湿度ナビ

温湿度ナビは、部屋の温度と湿度を測定し、空気中に含まれる水分量（絶対湿度）が適正であるかどうかをお知らせするものです。



適正	絶対湿度11g/m³より多い
やや注意	絶対湿度11g/m³以下
注意	絶対湿度7g/m³以下

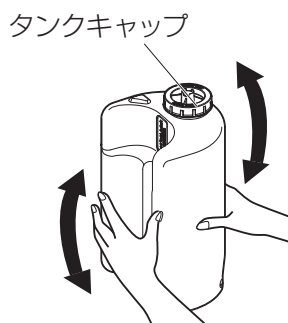
- 本製品は暖房機能はありません。室温を上げる必要があるときは、暖房器具などを併用してください。
- 本製品は医療器具ではありませんので、ウィルスを抑制することを目的としたものではありません。

お手入れ

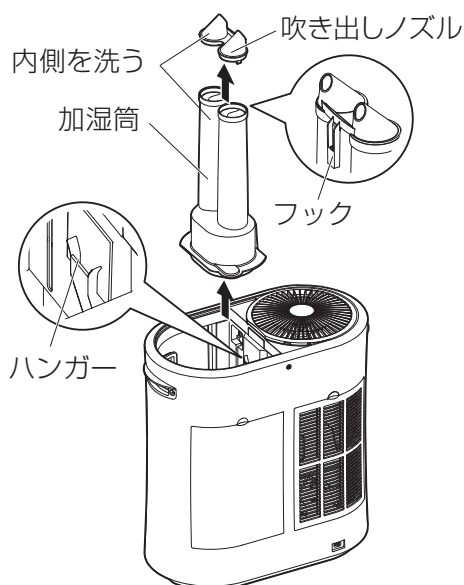
●シンナー、ベンジン、酸性・アルカリ性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

■水タンク・加湿ノズル 毎日

- 1** 水タンクに少量の水を入れ、タンクキャップを閉めて振り洗いする



- 2** 吹き出しノズルと加湿筒を取り外し、内側をブラシなどで洗う



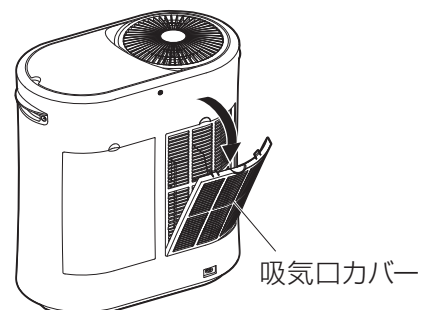
※ 汚れが落ちにくい場合は、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。洗った後は、洗剤分が残らないようにしっかりすすいでください。

※ 電源を入れたままノズルを外すと、アラームが鳴ります。お手入れするときは必ず電源を切ってください。

※ お手入れ後に加湿筒をセットするときは、加湿筒のフックが本体のハンガーに確実にかかるようにしてください。フックがハンガーから外れていると、電源が入らないことがあります。

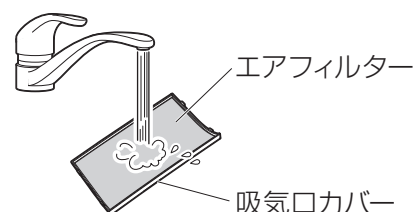
■エアフィルター 1週間に1回

- 1** 本体から吸気口カバーを外す



- 2** 吸気口カバーのエアフィルターを水洗いする

※ エアフィルターは吸気口カバーから外れません。



- 3** エアフィルターをよく乾かし、吸気口カバーを元通り本体にセットする

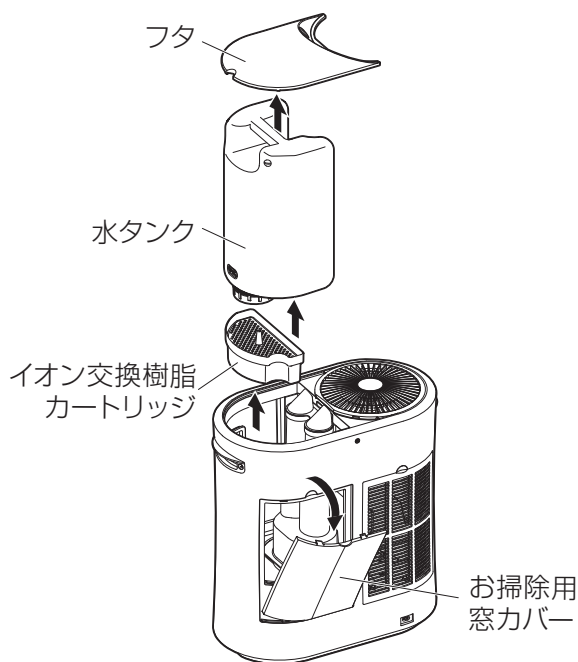
■ 本体内部 2週間に1回



注意

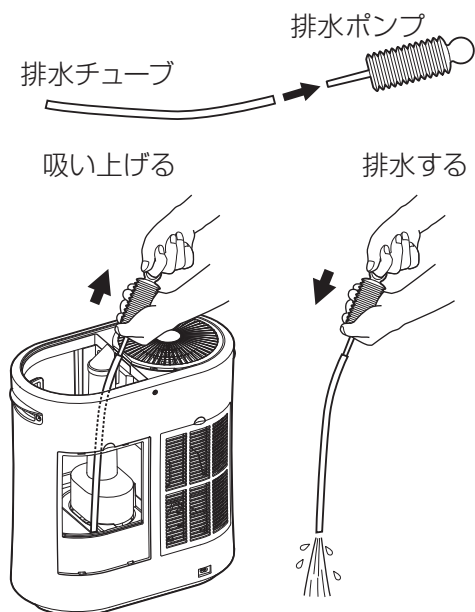
- 本体内部のお手入れは、必ず電源を切って、電源コードを抜いてから行ってください。
- 電源コードは濡れた手で抜き差ししないでください。
- 水洗いはしないでください。

1 本体から水タンク・イオン交換樹脂カートリッジ・掃除用窓カバーを外す



2 付属の排水ポンプを使って、本体に残っている水を排水する

※ 排水ポンプは付属の排水チューブをつないで使用してください。



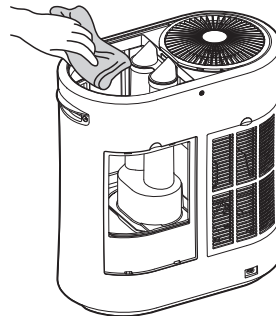
注意

- 排水ポンプで吸い上げた水を床などにこぼさないように注意してください。

3 本体内部を掃除する

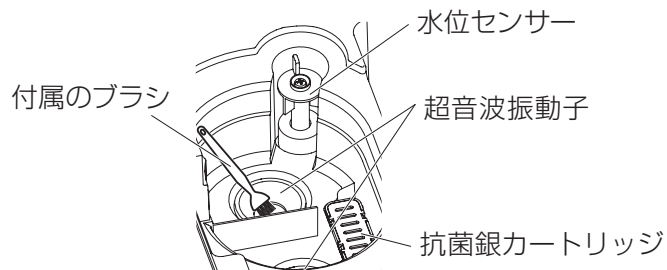
- ・ 柔らかい布で拭いてください。

※ 汚れが落ちにくいときは薄めた台所用中性洗剤で拭いたあと、洗剤が残らないように固くしぼった布で拭き取ってください。



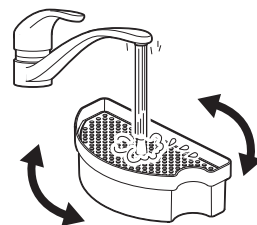
- ・ 水位センサーの下はごみがたまりやすいので、きれいな水を流して取り除いてください。
- ・ 超音波振動子は付属のブラシで優しく掃除してください。

※ 汚れや傷がつくと加湿量が低下することがあります。



4 イオン交換樹脂カートリッジを水洗いする

- ・ 流水で振り洗いし、本体にセットしてください。



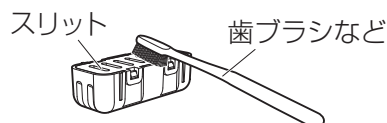
※ 洗剤・クエン酸などは使用しないでください。性能が落ち、イオン交換できなくなることがあります。

※ 本体にセットするときは、上下を間違えないように注意してください。

お手入れ つづき

5 抗菌銀カートリッジを掃除する

- ・水洗いし、本体にセットしてください。



- ※ 汚れがひどいときは、歯ブラシなどで軽くこすって洗い流してください。
- ※ 本体にセットするときはスリット面を上にしてください。

6 もとどおりに組み立てる

イオン交換樹脂カートリッジについて

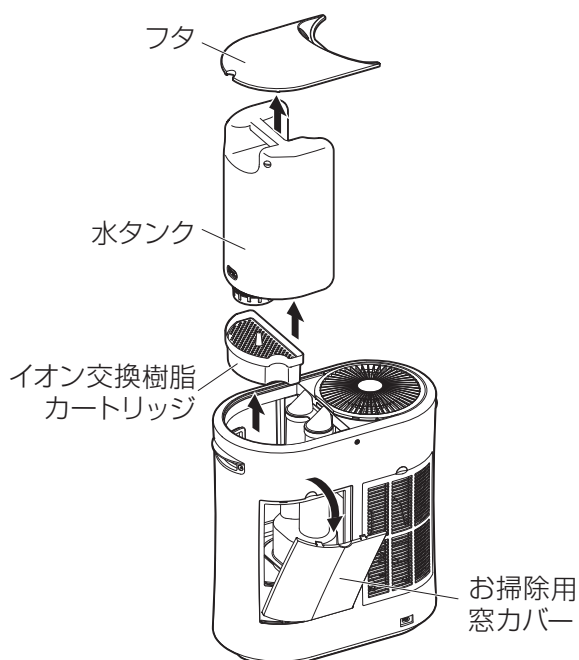
本製品はイオン交換樹脂を搭載していますが、カートリッジが汚れたりイオン交換能力が落ちると、周囲に白い粉が付くことがあります。これは水道水に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル分が析出したもので、人体には無害ですが、家電製品や精密機器の内部に入ると動作不良の原因になることがあります。イオン交換能力が落ちたら、イオン交換樹脂カートリッジを交換するか、再生させて（P19）使用してください。

※ 家具などに付いてしまった白い粉は水にぬらした柔らかい布を固くしぼって拭き取ってください。時間がたつと落ちにくくなるので、早めに拭き取ってください。

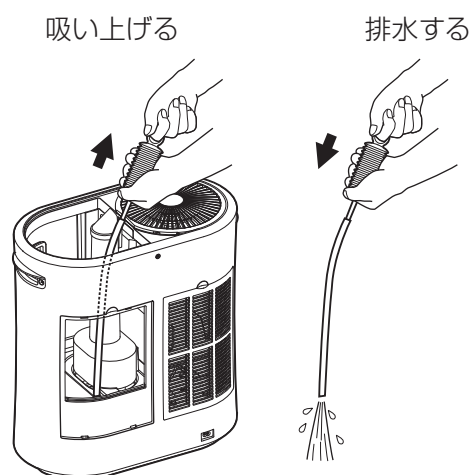
■イオン交換樹脂カートリッジを交換する場合

イオン交換樹脂カートリッジの交換時期は、水道水の水質や加湿器の使用頻度・使用時間によっても異なります。1日8時間（平均水道水硬度＝50）使用した場合、約4ヶ月でイオン交換能力が落ちます。

1 本体から、水タンク・イオン交換樹脂カートリッジ・掃除用窓カバーを外す



2 付属の排水ポンプを使って、本体に残っている水を排水する



注意

- 排水ポンプで吸い上げた水を床などにこぼさないように注意してください。

3 古いイオン交換樹脂カートリッジを新しいもの（別売）と交換する

- ※ イオン交換樹脂カートリッジをセットするときは上下を間違えないように注意してください。
- ※ 古いイオン交換樹脂カートリッジは、「その他プラ」ごみとなります。廃棄するときはお住まいの自治体の取り決めにしたがってください。

イオン交換樹脂カートリッジについて つづき

■イオン交換樹脂カートリッジを再生する場合

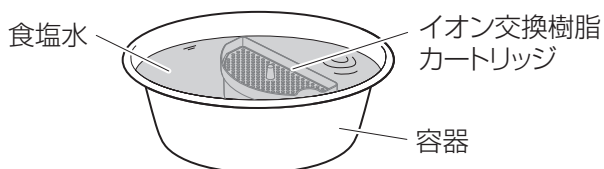
1 イオン交換樹脂カートリッジ全体がかくれるサイズの容器を用意する

※ 洗面器・ボウルなど

2 容器に約12%の食塩水を作る

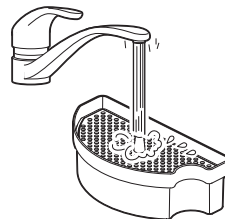
※ 1Lの水道水に約140gの塩（食塩）を入れ、よくかき混ぜて溶かすと、約12%の食塩水が作れます。

3 イオン交換樹脂カートリッジを食塩水に沈め、一晩置いておく（8時間以上）



4 イオン交換樹脂カートリッジを取り出し、流水ですすぎ洗う

- ・ カートリッジ内全体に水道水が行き渡るようにして、食塩をよく洗い流してください。



※ 食塩水は捨ててください。他の用途に使用しないでください。

注意

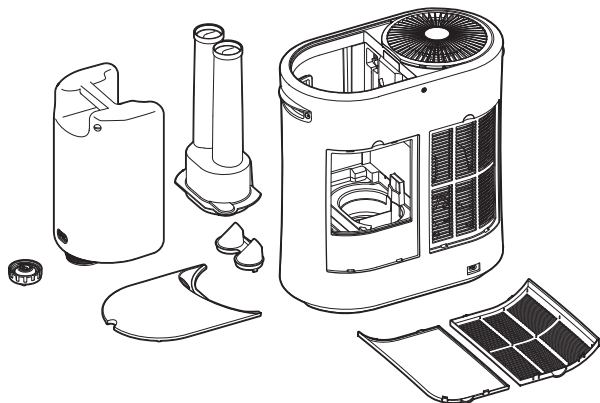
- 必ず流水でよくすすいでください。カートリッジ内に塩分が残っていると、本体のさびや劣化の原因になります。

5 カートリッジの水を切り、本体にセットする

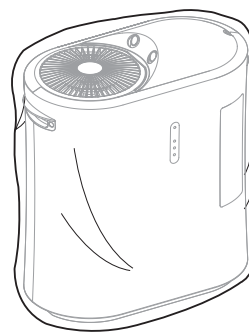
※ イオン交換樹脂カートリッジをセットするときは、上下を間違えないように注意してください。

収納について

1 水タンク・本体の水を排水し、よく乾かす




2 梱包箱に入れるか、ポリ袋をかぶせて、湿気の少ない場所で保管する



故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
加湿されない	●電源プラグが確実に差し込まれてない	●電源プラグを確実に差し込んでください。
	●電源コードの本体差し込みプラグが差し込まれてない	●電源コードの本体差し込みプラグを確実にさし込んでください。
加湿されない (給水ランプが点滅している)	●水タンクの水を使い切った	●水タンクに給水してください。(P11)
タンクに水が入っているのに 給水ランプが点滅する	●水タンクを入れた状態で傾けたり、本体に衝撃を与えた	●水が吹き出し口底部に入ると霧が出なくなります。一度本体内の水を排水してください。イオン交換樹脂カートリッジが水没しないくらいが目安です。 
	●吹き出しノズルが外れた	●吹き出しノズルを加湿筒の先にしっかりはめてください。
	●本体が傾いている	●水平で安定した床の上に設置してください。
	●イオン交換樹脂カートリッジが入ってない	●イオン交換樹脂カートリッジを入れてください。
霧の出が少なくなった	●エアフィルターが目詰まりしている	●エアフィルターをお手入れしてください。(P16)
	●超音波振動子が汚れている(水あかなどが付着している)	●付属のブラシを使用して超音波振動子を掃除してください。(P17)
霧が出たり出なかったりする	●本機は、温度・湿度に合わせて、連続加湿↔間欠加湿を自動で切り替えて運転します。	●目標湿度に達したり、室温が低く床濡れのおそれがあるときなどは、間欠運転になります。
床が濡れる	●室温が低い	●室温が低いと床濡れが起こりやすくなります。室温を上げてください。
	●部屋の環境によっては床が濡れることがある	●加湿量の調整(P14)を行ってください。

湿度を上げてても温湿度ナビの「適正」ランプが点灯しない	● 室温が低い	● 室温が低いと絶対湿度が上がらず、「適正」ランプが点灯しません。室温を上げてください。
湿度が上がらない	● 部屋が適用床面積より広すぎる	● 適用床面積以内で使用してください。
	● 窓やドアが開いている	● 窓やドアを閉めて使用してください。
	● 「静音」モードで使用している	● 「静音」モードではゆっくり加湿します。部屋が乾燥しているときは「おまかせ」モードか「うるおい」モードで加湿してみてください。(P12)
においがする	● 本体内部やエアフィルターが汚れている	● 本体内部及びエアフィルターをお手入れしてください。(P16、17)
	● 水が古くなっている	● 水タンク・本体の古い水を捨て、新しい水を入れてください。
	● 抗菌銀カートリッジが入っていない	● 抗菌銀カートリッジを入れ、水タンク・本体の古い水を捨てて新しい水を入れてください。
白い粉が出る	● 水道水中のミネラルが多すぎる	● イオン交換樹脂カートリッジのお手入れ（再生）回数を増やしてください。(P19)
	● イオン交換樹脂カートリッジの能力が落ちている	● イオン交換樹脂カートリッジを新しいものに交換するか、再生して使用してください。(P18、19)
水が黄色くなる	● 新品のイオン交換樹脂カートリッジが色落ちする	● そのまま使用を続けても害はありません。気になる場合は、イオン交換樹脂カートリッジを軽く水洗いしてから使用してください。
電源が切れた	● 転倒時安全スイッチが働いた	● 水平で安定した床の上に設置して、再度電源を入れてください。
ランプがすべて点灯し、アラームが鳴って操作を受け付けない	● 超音波振動子の異常を検知している	● アイリスコールへご連絡ください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

仕様

品番		SPK-1500Z/SPK-1500
定格電圧		AC100V
定格周波数		50Hz/60Hz
消費電力		280W
適用床面積（目安）	木造和室	25畳
	プレハブ洋室	42畳
加湿量	おまかせ・うるおい	約1500mL/h
	静音	約450mL/h
運転音	おまかせ・うるおい	約40dB以下
	静音	約34dB以下
連続加湿時間※ ¹	おまかせ	約4.0時間
	うるおい	約4.0時間
	静音	約13.3時間
タンク容量		約6L
製品サイズ		幅467×奥行251×高さ522mm
製品質量		約7.0kg
電源コード長さ		約2m

超音波振動子の寿命は約5000時間です。
適正な広さの部屋で1日8時間、4ヶ月運転した場合、約5年間ご使用いただけます。

※ 1 最大加湿量で連続加湿を行った場合

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

別売品

■イオン交換樹脂カートリッジ SPK-C360

(SPK-1500Z / SPK-1500 用)

※別売品についてはお買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。

強力ハイブリッド加湿器 SPK-1500Z / SPK-1500 保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間	
お 客 様	ご芳名		
	ご住所 〒		
		電話 () -	
※ 販 売 店	住所・店名		
	電話 () -		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内におきましても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居やご贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

製品に関するお問い合わせは **アイリスコール**（通話料無料）に

受付時間 9:00～17:00

（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは **修理専用コール**（通話料無料）に

受付時間 9:00～17:00

（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

0800-170-7070

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>